

福岡県立山門高等学校

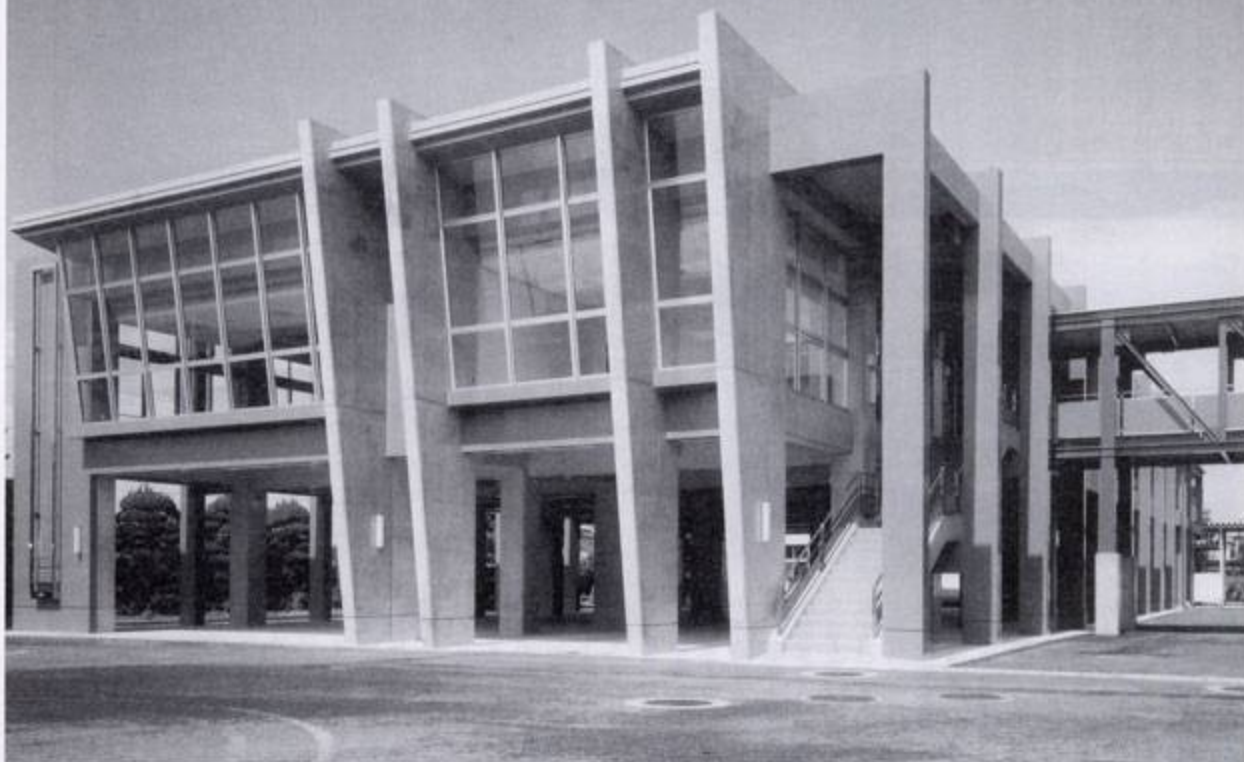


同窓会だより

2005.3.1

第8号

完成した同窓会館及び新図書館



同窓会館
及び記念庭園の
落成式の案内

期日
平成17年5月3日(火)
9:00~
(同日同窓会総会10:00開会)
会場
山門高校体育館

同窓会館の愛称については、たくさんのご応募をいただきありがとうございます。どれも、それぞれにすばらしい名前ばかりでしたが、正副会長会で協議の上、①山門会館②あさみどり館③柏友館の三点に絞り込み、二月一日の理事会にて「柏友館」と命名することに決定いたしました。選定の理由として校章が柏の木のものであること。また、柏の木は晩秋に多くの落葉樹が葉を落とす中で、枯葉を落とさず越冬し、翌年新芽が出てから古い葉を落とすことから、柏の木のように同窓会がこれからも強いつながりのもとに、永遠に存続する事を願ってネーミングされました。「柏友館」が親しく活用され、名前が広く浸透していくことを願います。なお、柏友館の書は、現校長の古賀俊一先生の揮毫によるものです。

はく
ゆう
かん
柏友館



山門高校同窓会館

「柏友館」が完成



山門高校同窓会
会長
板橋 元昭

山門高校同窓生の皆様には、各界各層に於いて、ご清祥にて活躍のこととお慶び申し上げます。昨今、世界各地で天変地異が起き大きな災害が発生しております。国内は勿論のこと海外でも活躍されている同窓生の中には被災された方もおられるのではないかと拝察いたしております。

平成十六年度本部総会は、例年通り憲法記念日の五月三日に母校体育館で盛大に行なわれました。当番学年昭和五十七年卒の皆様が参加がとて多く大変印象的でした。福岡地区同窓生の集いが再会されて四回目となる福岡山門会の平成十六年総会は四月十日に市内の西日本新聞会館国際ホールにて賑やかに開催されました。藤丸修会長はじめ役員の皆様のご努力に心より感謝申し上げます。

関東地区同窓会は隔年毎の予定ですので、平成十七年度に再開三回目の開催をするべく昭和三十三年卒の松尾武昌氏はじめ世話人会の方々が鋭意準備を進めて頂いております。

さて、母校創立九〇周年記念同窓会事業（同窓会館建設、記念庭園整備）のための募金につきまして、平成十三年度総会に於いて

ご承認いただき、平成十四年より三カ年を募金期間として活動を続けて参りました。お陰様で今年一月末までに二五三四名の皆様より三一・五万円余のご協力を頂いております。募金は、今年八月末をもって終了させて頂きます。お忘れになっている皆様は早目にお振り込み下さいれば幸いです。

同窓会館と記念庭園は四月末には完成します。五月三日の本部総会当日、総会開会前の時間を頂いて落成式を行い皆様にご披露することといたしました。多くの同窓生のご来場をお待ちしたいと存じます。

なお、同窓会館の愛称は二月一日の理事会に於いて校章に描かれた柏の木の名にちなんで「柏友館」に決定したことをご報告しております。同窓会館は既に使用できる状態です。今年度の総会担当の皆様が集合場所としても使用されていきますし、在校生諸君の授業にも供しております。

又インターネットが利用出来るパソコン等の設置も出来ましたので早速に会員情報等の整理を進め、福岡地区関東地区等の事務作業を本部で一元処理できる態勢を整え、効率よく効果的上がる同窓会活動を通して、同窓会の目的である会員相互の親睦と福祉そして母校の発展に寄与してゆきたいと願っております。

同窓生の皆様のご協力に衷心より御礼を申し上げますと同時に益々のご飛躍を祈念しご挨拶いたします。

新図書館・同窓会館の完成に感謝



山門高校
校長
古賀 俊一

山門高校同窓会の皆様には、日頃から母校の教育の充実・振興のために格別のご支援・ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

本校創立九十周年記念事業につきましまして、昨年九月に新図書館と併せて同窓会館が開館となり、同窓会のご好意により各種会合等に活用させて頂いておられます。校門横の記念庭園につきましても、本校の発展をイメージした設計がなされ、本年度末に完成の運びとなりました。また、父母



▲図書館約24,000冊の蔵書

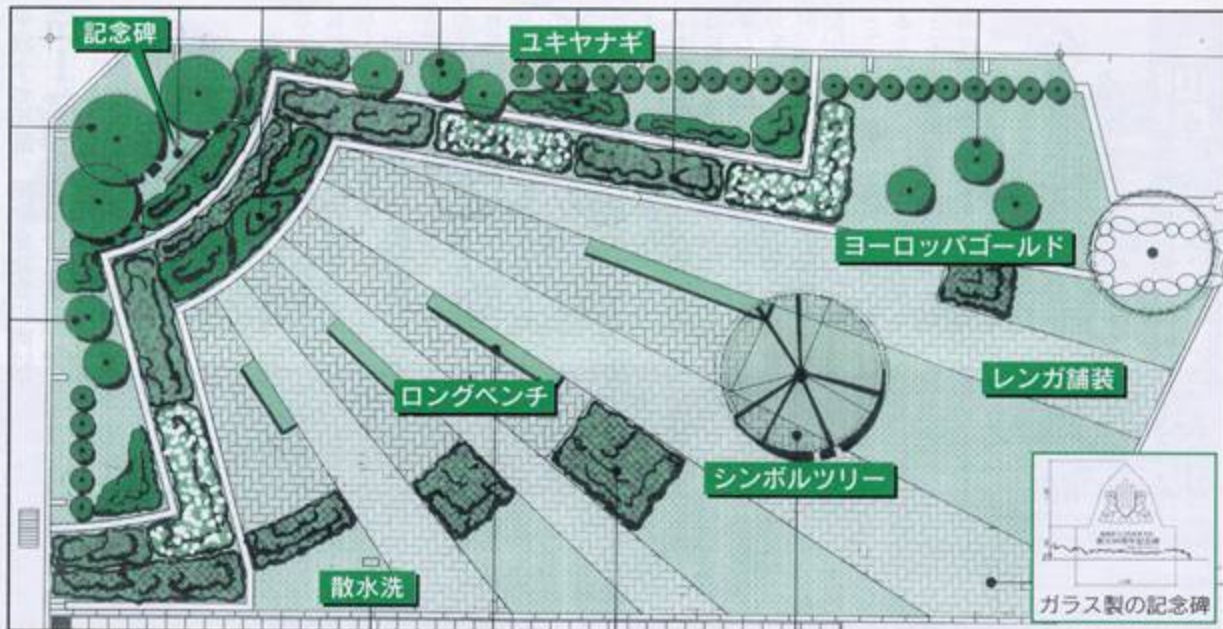
教師会からの要望に答え、今年度から普通教室に空調設備を備えましたが、設置にかかる経費の一部について同窓会からの援助をお願いいたしました。このように、同窓会の支援をいただいたながら、生徒たちは恵まれた環境のもとで、日々洗練と学校生活を送っております。

さて、少子化が進むなか、本県では県立高等学校の再編整備が行なわれており、近隣においても五校が、平成十六年度末をもって閉校となります。本校は、その対象とはならなかったものの、募集人員減のため来年度は全校十五学級・六百名規模の学校となります。また、平成十五年度に学区が再編され大牟田地区からの生徒募集も行なっております。生徒会による学校紹介も好評で、現在は高い入学志望倍率を確保できておりますが、一方、山門郡内から大牟田地区の高校を志願する生徒もおり、予断を許さない状況であります。今後も積極的に魅力ある学校づくりを目指す所存です。

現在、本校は「第一希望での進路実現」を重点目標として掲げ、「文武両道」の教育方針のもと教育活動を展開しております。しかしながら進路実績において、かつての山門高校の輝きを取り戻すには至っていない現状にあります。学費規模が縮小する中で、数よりも質・率で進路実績を上げるべく、鋭意努力しているところであります。ところで本校には、理数系に強い山門の伝統を引き継ぐ「普通科

理数コース」が設置されており、このコースの活性化こそが本校全体の活性化につながるものと考え、目下コースの特色化に着手しているところであります。早速本年度から、理数コースの生徒を対象にして「わくわくドキドキ講座」、「夢発見東京研修」を実施しております。「わくわくドキドキ講座」は、理科や数学に対する興味・関心を高めるための特別授業で、土曜日に十回実施しました。「夢発見東京研修」は二泊三日の日程で、お台場にある日本科学未来館での実習、本校OBによる科学技術講話などを行ないました。これらの行事での学びを契機に、科学技術創造立国を支える人材が輩出して頂けることを願っています。

本校生徒は素直で明るく、多くの方々からお褒めの言葉をいただきます。生徒会の役員もよりよい学校づくりを意欲的です。部活動の加入率は八割を超えており、県下でも有数の高い数値となっております。本年度は、近藤洋史君が陸上競技三段跳びでインターハイ全国六位に入賞する活躍を見せてくれました。生徒諸君には、学力におけるいま一步のステップアップをめざし、日本や世界を視野に入れて自らの将来を考えているようになってほしいと思っております。皆様には、今後とも本校に対するご理解とご支援を切にお願ひ申し上げますとともに、山門高等学校同窓会ますますの発展を心よりお祈り申し上げます。



記念庭園 本校の発展をイメージした。

校章の想い

昭和二十七年卒 森 属

つづく

一九四九年（昭和二十四年）私が山門高校に入学して日も浅い頃、学校は在校生から校章を募集することになった。ところが、応募者は二人だけだった。

生徒集会で、冒頭、先生が壇上で二人の作の簡単な説明をされ、挙手による採決の結果、私の方に決まった次第である。

「山」を圖案化して中央に樹え、下に柏の葉をあしらったがバランスが悪いので、両肩に小さな葉を乗せてみた。なぜ柏の葉かという旧制第一高等学校（今の東大）の校章が柏の葉を三枚あわせたものであったので、多くの新制高校がこれに慣ったように思う。私もこの風潮に従ったわけである。

山門の「山」については笑い話だが当時、農業の実習があり、畑を耕すとき二本鍬（刃先が三本に分かれていた鍬）を使った。つまりこの鍬はつらい労働の象徴であったから、口の悪い友人はこの「山」を二本鍬と言って私を苦笑させた。

同年七月、私は表彰状と図書券（二百円）を学校から頂いた。身に余る栄光であった。二百五十円で新しい日記帳を買った。一九五〇年一月一日から書き始め、今も情性で書いている。



山門高校校章



旧制第一高等学校校章

平成十六年度 同窓会総会を終えて

前年度実行委員長 五十寿卒 梶島 博規

二〇〇四年五月三日、小雨の降る中、平成十六年度山門高校同窓会が盛大に開催されました。本總會のため、各地より参加していただきました。同窓会会員の皆様及び関係者の皆様、本当にありがとうございました。実行委員会を代表いたしました。心から感謝申し上げます。また、チケット販売についても、理事の皆様を初めとする諸先輩方の快いご協力により多数の販売ができました事をこの場を借りしてお礼申し上げます。

さて、五月三日総会当日、第一部がスタートしました。二十二年ぶりに咽う校歌がとても懐かしく思わず胸にジーンとくるものがありました。第二部は悪徳商会の八名信夫氏による講演。頑固親父の存在を強くアピールし「怒るのではなく、叱れるんだ」と説く、八名氏の笑いあり、涙あり、の熱い講演会。その後バート目黒川 健氏、黒須銀二氏による「悪役講座」お客様の飛び入り参加で会場は、爆笑の渦となりました。三部の懇親会では、松尾ミチコ先生率いるフラダンスも懇親会に華を添えていただきました。

結果オーライではありませんが、正直、無事に終ってホッとしました。しかしこの成功は、全てはみんなの力なんだということを改

めて感じています。五十七年卒のテーマを「乾杯！われら人生の主人公」とし、「二人ひとりが生身の主人公になろうよ」という事でみんな頑張った結果だと思っています。ステージには上がらなくても除で活躍してくれた同級生がいっぱい。どしゃ降りの中ずぶ濡れになって車を誘導してくれた同級生がいました。懇親会がスムーズにいったのは女性の力です。一度もナマの八名信夫氏、本人を見ることができなかった同級生がいました。しかし、誰もがこの總會の成功を喜んでくれました。この同窓会に関わって頂いた全ての方々に感謝申し上げます。最後に、次年度の山門高校同窓会が昨年以上の盛会となることを心より願っております。



▲八名信夫氏の熱い講演

テーマ「全力投球！今を生きるために」



実行委員長
昭和五十八年卒
松尾 泰弘

同窓生の皆様、平成十七年度同窓会総会は、昭和五十八年卒業の私たちが担当します。何卒、よろしくお願いいたします。

山門高校も創立九十周年を超える歴史ある高等学校になり、多くの卒業生の方々が各方面で活躍されています。山門高校同窓会は、

再会と情報交換のみならず、愛校心や同窓意識を高める場であり、さらには「元氣・やる気」をやりとりする場でもありたいと考えています。

本年度の同窓会のテーマは「全力投球！今を生きるために」としました。全力投球とは、「すべての力を使って、玉を投げること」ですが、言い換えれば、「信念と誇りをもち、一生懸命に物事に取り組みること」を意味しています。また、「生きるとは、充実した人生を過ごすこと」とを意味しています。少子高齢化、高度情報化など、私たちを取り巻く

社会状況は、著しい変化を見せています。その中で、価値観の多様化が進むとともに、人の生き方自体も変化を見始めています。その変化に振り回され、将来への希望や自分への自信を、失うことすらあるかもしれません。そういう今だからこそ、私たちの内なるエネルギーを引き出すようなテーマが必要と考えました。山門高校同窓生の同窓意識を高め、明日への「元氣・やる気」につながれば幸いです。

本年度の同窓会総会の記念講演の講師には、野球評論家、村田光治氏を招く予定です。

村田光治氏は、東京オリオンズ（現千葉ロッテマリーンズ）に入団、大きく振りがぶつて真つ向から勝負する独自の「マサカリ投法」を生み出されました。昭和六十年には、再起不能と言われた右肘痛から、奇跡的な復帰を遂げられました。現役二十三年間で二百十五勝、最優秀投手賞をはじめ、数々のタイトルを獲得されました。現在は、野球評論家としての活躍のほか、ライフワークとして、全国の有名離島での野球教室などを通し、離島の人の

の野球を支援されています。また、東京ドリームズ・マスターズリーグにも所属され、「まだ現役には負けない」と五十六歳で今も百四十キロの速球にこだわりをもつておられます。講演会の依頼も多く、これまで全国各地に出向されました。幾多の困難を克服されたプロ野球選手時代はもとより、現役引退後もライフワークとして取り組まれている支援活動で、全力投球をされているからこそ見えてくる人生観についての講演は、必ずや聴く私たちに感動を与えるものと確信しています。

本年度、同窓会総会に参加し、担当された昭和五十七年卒業の先輩方の熱い思いを強く感じました。現在私たちは、定期的に実行委員会を開き、先輩方の活動を参考にしながら、来年度の同窓会総会の準備を進めています。準備を進める上での心配や不安はありませんが、実行委員のメンバーには高校卒業以来の再会となる者も多く、高校生時代にタイムスリップしたような気持ちで、毎回業スリッパには一杯昔の話に花を咲かせながら、させてもらっています。

四十歳という節目の年に、同窓会総会の担当という大役とともに、このような楽しみも与えて頂き、感謝いたします。最後になりますが、山門高校同窓生の皆様が、今後も社会で活躍されることを期待いたしますとともに、五月三日（祝）の同窓会総会では、多くの方々のご出席を心よりお待ちしております。

進路状況

進路指導主事 倉吉 康英

九月の体育大会が大成功に終わり、三年生は本格的に進路実現に向けて動き出した。十月から推薦入試が始まり大学十九名、短大十四名、看護・医療系を含む専門学校十七名が合格した。十二月から看護・医療系専門学校の一般入試が始まり、一月十五・十六日の大学入試センター試験では百十九名の生徒が久留米大学で受験した。十七日に自己採点を行い、各業者のデータを基に面談を実施し、最終的な出願校を決定した。今年度は、前・中・後期併せて佐賀大・福岡教育大・熊本大など延べ九十五名が国立大学へ出願している。

センター試験の翌日からは進学補講を開講し、コース別入試対策を始めた。三年生は二月から自宅学習期間となるが、進路未決定者は、受験日以外は学校に来て、進学補講や自学に励んでいる。二月に入り本格的に私立大学の一般入試が始まった。現段階では合否結果は殆ど出ていないが、これまでの三年生の状況からみて好結果を期待している。国公立大学個別試験は、前期が二月二十五日、中期が三月八日、後期が三月十二日から実施される。

最後の最後まで諦めず、これまで努力してきた自分に自信を持ち、夢を実現してくれることを願っている。

福岡山門会総会のご案内

福岡県山門会も再開後、5回目の総会を迎えることとなりました。ぜひご参加ください。

●名称：福岡県山門会総会・親睦会

●日時：平成17年4月9日（土）

午後2時30分より

●場所：福岡国際ホール（博多大丸屋上階16F）

●会費：男性¥7,000 女性¥6,000

●問い合わせ先：TEL.092-481-2236

鶴アバ内 横山まで

平成16年度卒業生（平成17年3月卒業）

同窓会クラス役員

	男子	女子
1組	○石橋 守史	吉開 詠子
2組	龍 大樹	山下恵理香
3組	大津 充弘	中村 沙織
4組	池部 圭	野田みゆき
5組	樽島 健二	志水 政美
6組	大坪 秀平	○塚本 尋子

○は学年代表

編集室より

今年の会報8号は、昭和五十七年卒の実行委員会が編集いたしました。快く寄稿していただき感謝いたします。

全力投球！
今を生きるために

山門高校同窓会総会

5月3日(祝)

村田光治
（元プロ野球選手）

山門高校体育館
2,000円

山門高校同窓会 平成十七年三月一日